

基本評価シート

様式

北海道 真狩・留寿都・ニセコ区域

(北海道後志総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和6年度（2024年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（真狩・留寿都・ニセコ区域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	後志総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	石田 千晶	担当者連絡先	0136-23-1354
捕獲実施事業者	令和6年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム（認定を受けている）	予算額（※2）	195,038,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	108,148,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
32頭	21頭	65.625%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
73万頭※ (個体数指数：東部148、北部127、中部112、南部388)	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
35,232頭(R5)	61,491頭(R5)	58,803頭(R5)

※令和5年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~22万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。
--

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	令和 6年10月12日～令和 7年 2月28日(※委託期間)
実施区域	<p>後志／真狩・留寿都・ニセコ区域 [支笏洞爺国立公園隣接]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真狩村（新陽地区）：羊蹄山の裾野のある道有林に隣接した町有地であり、北側は樹木が伐採されており、開けた環境にある。南側はシラカンバやトドマツが生育する森林で林床はササが密生している。 ・真狩村（神里地区）：マメ類が栽培されている畑に隣接したトドマツ人工林である。 ・真狩村（川崎地区）：河畔林や広葉樹林に隣接する耕作地であり、ニンジンや水稻が栽培されている。 ・留寿都村（登地区）：休耕地と河畔林に挟まれた広葉樹林。 ・ニセコ（近藤地区）：ヤナギ林に隣接する耕作地（マメ類等の栽培）。 <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>

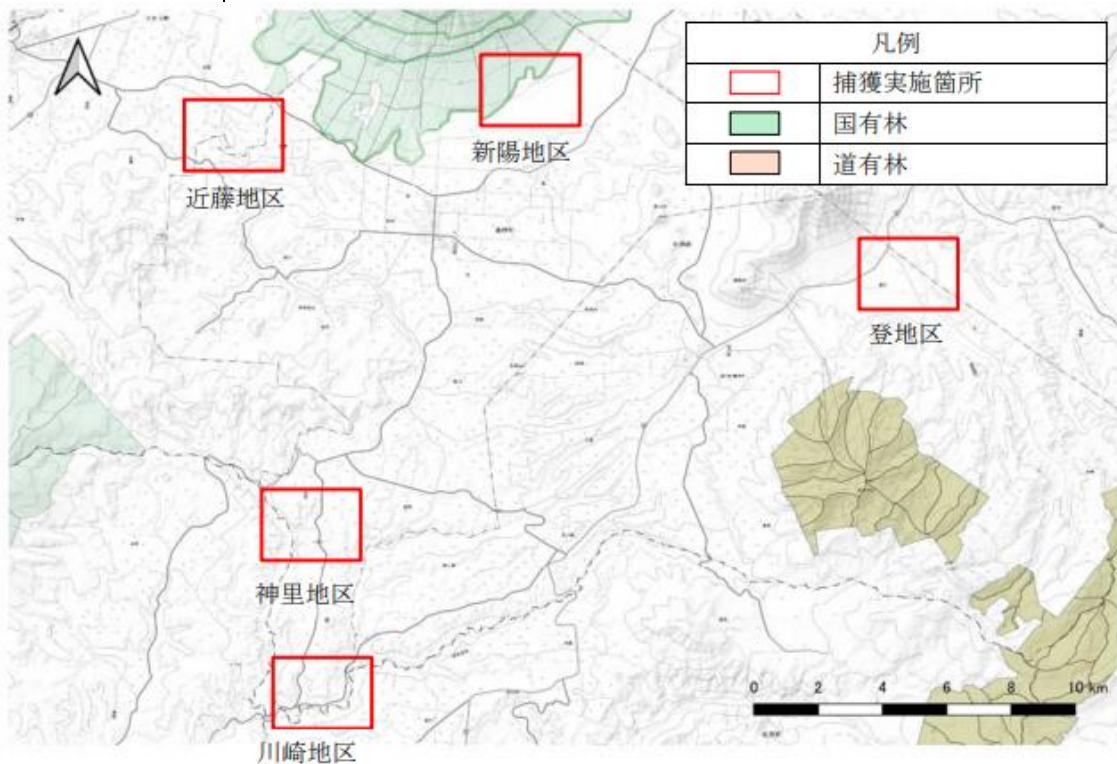


図 捕獲実施箇所（全体図）

関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・後志総合振興局森林室：捕獲事業における情報共有を図る。 ・真狩村、留寿都村及びニセコ町：地元関係機関、地権者等との調整や現地確認、手続き等に対する助言・協力を行う。
事業の捕獲目標	(65.625%達成) = 21 頭 (実績値) / 32 頭 (目標値)
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<p>【わな猟】</p> <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他 () ※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可
捕獲個体の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、また GPS 機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）で撮影し、データも併せて添付する。） <input type="checkbox"/> その他（ 捕獲現場にて立会 ） ※複数チェック可。
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。</p> <p>受託者の内部にあっては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。</p> <p>捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。</p> <p>また、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。</p>

捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：17人 (内訳) 正規雇用者： 7人、期間雇用者： 0人、日当制： 10人
----------	--

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：全体の捕獲目標数に到達しなかったが（目標 32 頭・実績 21 頭）、手法別に見ると、くくりわなの捕獲目標達成率は 131%となり（目標 16 頭・実績 21 頭）、予定を上回る捕獲数となった。箱わな及び小型囲いわなについては、1 頭も捕獲ができず、改善の必要があると考えられる。</p>
	<p>改善点：豪雪地帯である当地域では、誘因物を使用したわなによる捕獲が可能な期間が、農作業が一段落した晩秋から降雪前までという限られた期間であり、当該短期間にいかに効率的に捕獲するかが課題である。箱わなについて、周囲の畑には残置農産物が確認されたケースがあったことから、誘引効果を得るためには休耕地など、付近に農作物など誘引物が無く、かつわなを設置・管理することが可能な平坦な箇所での設置が望ましいと考えられる。また、小型囲いわなについては、エゾシカに警戒されるため、捕獲を成功させるためには馴化期間をより長期に確保することが必要であると考えられる。</p>
【実施期間】	<p>評価：10月下旬から12月初旬までの期間、捕獲を実施した。くくりわなについては、実績が確保できたので、期間設定は適当であったと評価する。箱わなについては適当な期間であったと評価するが、設置場所の環境が不適当であったと考える。小型囲いわなについては、馴化期間が不十分であったと評価する。</p>
	<p>改善点：くくりわなについては設置した翌日から捕獲できた一方で、12月初旬は捕獲ができなかったため、捕獲年度の降雪の時期にもよるが、確実に捕獲するためには、くくりわなの設置期間については1ヶ月程度前倒しても良いかもしれない。</p>
【実施区域】	<p>評価：エゾシカをわなで捕獲するのに適した地域と考えられる森林が連続する地域と畑の間となる地域を選定することができたと評価する。</p>
	<p>改善点：箱わなについては適切な設置場所ではなかったと考えられることから、さらに現地環境やエゾシカの生息状況を詳細に確認した上で、実施区域を検討する必要がある。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：くくりわなについては捕獲目標を達成できたので、適当な捕獲方法であったと評価する。箱わな及び小型囲いわなについては、1 頭も捕獲ができず、改善の必要があると考えられる。</p>
	<p>改善点：箱わなの設置場所の近くに、畑の残置農作物（エゾシカの食痕有り）が確認されたケースがあったことから、箱わなに誘因する効果が薄れてしまった。付近に農作物など誘引物が無い休耕地を設置場所とすることや、残置農作物を撤去することなど、改善策を講じる必要があると考えられる。また、小型囲いわなについては、エゾシカに警戒されることから十分な馴化期間を置くことが必要であるが、当地域では、当該わなによる捕獲が可能な期間が短いことから、捕獲手法として適していない可能性が考えられ、大型の囲いわなによる捕獲を試みる必要性が考えられる。</p>

2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：高い捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等を得意とする団体とがコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。
	改善点：前述のとおり、箱わなの設置場所が適当ではなかったと考えられることから、事前調査の際、わな設置候補地の環境について、地元自治体からの情報収集をより密に図る必要性が考えられる。
【個体処分】	評価：一般廃棄物として適切に処分したと評価する。
	改善点：近隣に有効活用できる団体がないことから、全頭処分した。有効活用が望ましいが、エゾシカ個体数の削減のためにはやむを得ないものと考えられる。
【環境配慮】	評価：錯誤捕獲に対応するため、アライグマの捕獲許可を得て、捕獲があった場合でも適切に対応できるようにした。また、ヒグマを錯誤捕獲しないよう、通信型自動撮影カメラを使用し、ヒグマの活動状況を監視し、状況に応じてわなを撤去・移動させた。
	改善点：引き続き錯誤捕獲防止に向けた同様の対策を講じる必要がある。
【安全管理】	評価：現地入口等での注意看板の設置及び安全管理規定に基づく捕獲体制により安全を確保した。また、前述のとおり通信型自動撮影カメラによる監視を行った。
	改善点：引き続き同様の安全対策を講じる必要がある。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし	
4. 全体評価 <p>本事業では、捕獲目標頭数に達しなかったが、手法別にみると、くくりわなの捕獲目標達成率は131%であった。銃による捕獲が困難な自然公園区域の隣接地や他管内からの流入個体、また、秋期においてエゾシカが季節移動する本事業範囲において、最も効率的な捕獲方法はくくりわなであると考えられた。</p> <p>今年度、箱わなによる捕獲はできなかったが、昨年度は4頭を捕獲できているので、付近に農作物など誘引物が無い休耕地等の場所を設置場所とすることや、残置農作物を撤去することなどの改善策を講じることで、捕獲が可能となるものと考えられた。しかし、エゾシカの食料となるものを周辺から完全に撤去することは困難であることから、当該地における捕獲手法としては、箱わなは効率的な捕獲方法ではないと考えられた。また、小型囲いわなについても同様、警戒心を上回るほどの誘因効果のある物を仕掛けることが困難であると考えられるため、当該地における捕獲手法としては、効率的な捕獲方法ではないと考えられた。</p> <p>今後は、今年度に効果的であったくくりわなによる捕獲を継続実施し、より効果的なくくりわなの捕獲方法を引き続き検討するほか、多数のエゾシカを一度に捕獲することが可能な大型囲いわなによる捕獲を本地域において試み、本地域においてもくくりわな以外のわなによる効率的な捕獲が可能か検討していく必要がある。</p>	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

通信型自動撮影カメラを使用したわなの監視など、効率的な捕獲手法を当該地域で実施検証し、エゾシカ捕獲事業の主体となる市町村へ事業の実施結果を報告することによって、地域でのエゾシカ捕獲対策に寄与することができたと考える。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数＝わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
GPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> GPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数^{※1}：_____人日

事前調査人日数概数^{※2}：_____人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	令和6年度 —(事業年度の値)—	令和5年度 —(前年度の値)—	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}： _____ 196 人日

事前調査人日数概数^{※2}： _____ 5 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 187 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	2,110 基日	4,160 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 —(事業年度の値)—	令和5年度 —(前年度の値)—	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 —(雌捕獲数/全捕獲数)—			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 —(幼獣数/全捕獲数)—			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日	頭/人日

			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2: CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3: SPUE=目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	21 頭	18 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.619	0.67	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0	0.33	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	21 頭	2,000 基日	0.0105 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	0 頭	80 基日	0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな（小型）	0 頭	30 基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2: CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: (不明) 人・時間

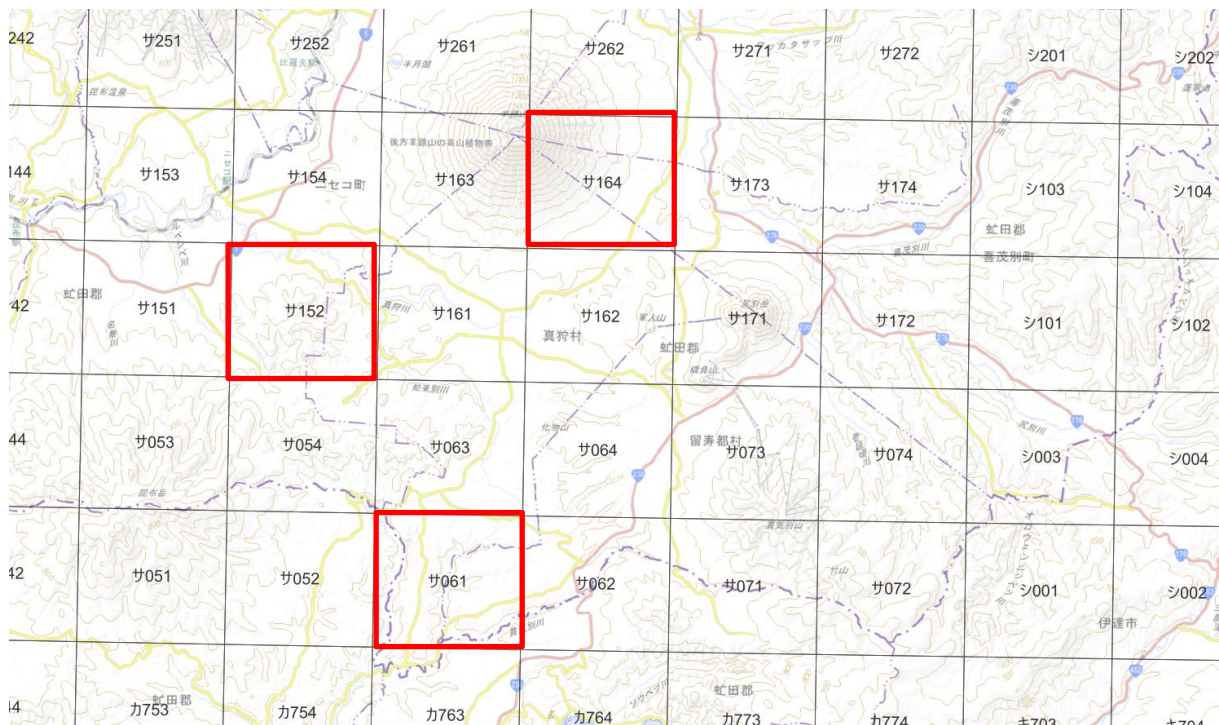
処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。また、捕獲個体の尾を採取し、個体数確認を行っている。

捕獲した個体の処理については、委託後に受託者に提出させた捕獲作業計画書において搬出予定先（処分業者）を明記させ、また、実際の処理の際には、搬出、運搬を行った記録をすることとするなど適正な処理が行われるよう計画させた。なお、近隣にエゾシカの食肉加工施設がないため捕獲個体の有効活用はできなかった。

○概況図



サ 1 6 4 (真狩村新陽)	CPUE:0.017、捕獲数 : 5
サ 0 6 1 (真狩村神里・川崎)	CPUE:0.007、捕獲数 : 7
サ 1 7 1 (留寿都村登)	CPUE:0.013、捕獲数 : 6
サ 1 5 2 (二セコ町近藤)	CPUE:0.008、捕獲数 : 3